Titibu832

<u>秩父１６年4月　８３号</u>

〈図書紹介〉

『日本帝国の申し子』

カーター　J。　エッカート教授著、

小谷まさ代訳　本誌７７号(平成１４年10月号）で歪められた日韓近現代史の見直しを提唱する金完燮著「親日派のための弁明」を紹介致しましたが、最近新たにハーバード大学教授の筆者が朝鮮の近代化と現代韓国日本統治の影響を検証した労作の日本語訳本が発刊されました。

副題に「高敞の金一族と韓国資本主義の植民地起源･１８７６－１９４５」とあるように朝鮮資本による初の大規模企業「京城紡績」の興隆を通して、朝鮮の近代化と現代韓国の発展に及ぼした日本統治の影響を公正に評価している点で、一読に値する。

草思社、2004 年１月発行、２４００円（税抜き）